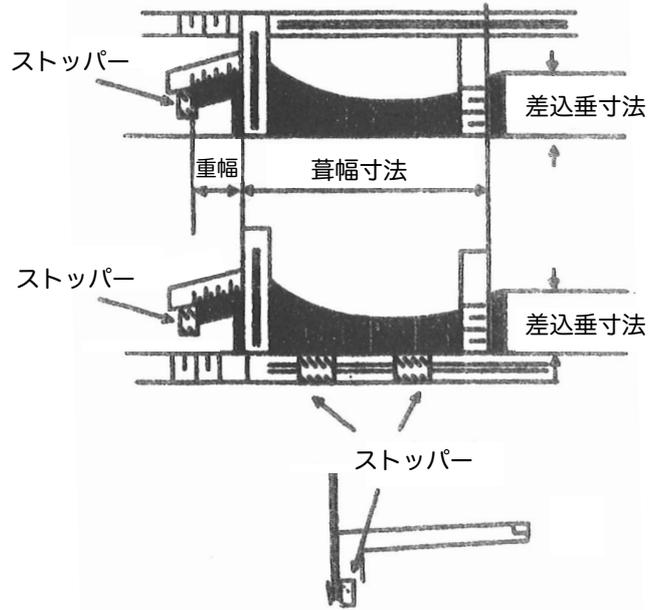


瓦曲矩 K-II 使用説明書

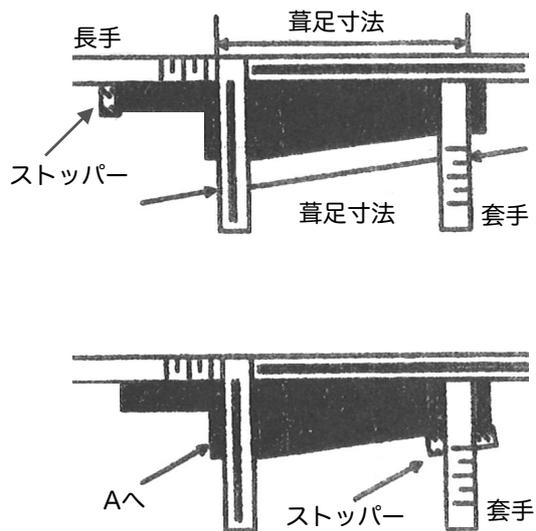
1) 一文字軒瓦の葺幅寸法・雀口同時型取り

- ◎ 一文字軒瓦の雀口の型取りの時、棧幅を決められる。
- ◎ 棧側寸法と差込垂寸法を套手外側目盛によって同時に
見ることができる。
- ◎ 利幅寸法は長手外側目盛とする。
- ◎ ストッパーを調整して棧幅を決める。
- ◎ 三ヶ所同時に寸法取ができる。



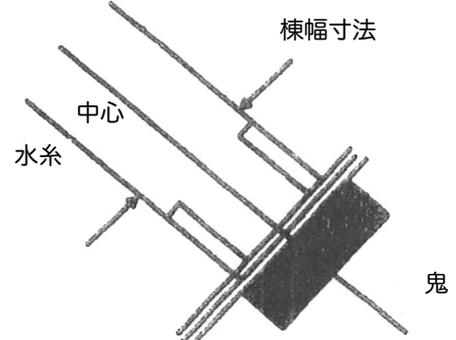
2) 袖瓦の葺足寸法両端同時記入 (上部を基準の時)

- ◎ 目盛の読み方には、外側と内側がある。
切り取り線を外側で付けるときは外側の目盛を使用し
内側で線を付けるときは内側の目盛とする。
- ◎ 垂寸法をはかるときは套手の内側とする。
- ◎ ストッパーを調整して腕の長さを決める。
- ◎ スライド最小幅 → 2寸5分 (75mm)
内～内最大幅 → 1尺9寸5分 (590mm)
- ◎ 袖瓦のAの部分基準にする時は、ストッパーを図の
位置に取り付けて調整して下さい。



3) 棟幅寸法と鬼瓦据え付け

- ◎ 棟幅の水糸と鬼瓦の直角度及び中心を同時に確認する
ことができる。長手外側の目盛を使用する。
- ◎ 棧瓦の利幅寸法計測・棧木打等の定規作成のとき狂いが少ない。
- ◎ スライド最小幅 → 2寸5分 (75mm)
内～内最大幅 → 1尺9寸5分 (590mm)
- ◎ 取り外しができます。
自由に組んで、使用法をご研究下さい。



注意！ 各蝶ナットを強く締めると破損してしまうのでご注意ください。